

教育研究データ			
1. 氏名	嘉島 叶人		
2. 生年月			
3. 取得学位	修士（比較社会文化）		
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年月	概要	
（1）教育内容・方法の工夫	2024 年 4 月～	①自らの経験を活かし、研究や実務経験に裏打ちされたグローバルな視点からの授業改善に努め、担当する全ての授業においてアクティブラーニングを実施している。GC 学科の特性を踏まえ、授業では、観光学・ICT・マーケティングの専門用語などを英語で積極的に導入することにより、学生は観光業界におけるグローバルな学問を身近に感じ、実務的な視点で学びを深めることができる。 ②PBL 型授業を通じて、学生がプロジェクトに取り組み、その成果を日本観光学会や国際ビジネスコミュニケーション学会で発表し、学会賞を受賞する実績も上げている。また、授業にとどまらず、学生には観光ボランティア活動や国際交流活動の機会を提供し、地域づくりや国際的な視野を広げられるよう支援している。これらの経験を通じて、学生は成長を実感し、さらなるスキル向上へとつなげている。	
		（2）教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
	2024 年 9 月	①「海外観光地における英語教育の実践と国際観光の相乗効果ーラプラセプ国際大学における CELS を事例としてー」 国際ビジネスコミュニケーション学会	
	2025 年 3 月	②「ビジネスコンテストにおける指導実践の一考察」 国際ビジネスコミュニケーション学会	
5. 研究業績			
（1） 著書	単著 共著 の別	発行の 年月	発行所
① 『東アジアの観光・消費者・企業』	共著	2019 年 2 月	五紘舎 ISBN: 9784864340922

② 『新・観光ビジネス概論』	共著	2021 年 3 月	日本観光学会九州・沖縄支部 ISBN: 9784902295412
(2) 学術論文	単著 共著 の別	発行の 年月	掲載紙および巻/号, 頁
① Sustainability of Eco-energy geothermal power in Taiwan and the relationship with Japan	共著	2018 年 2 月	『亞洲服務業管理應用與未來展望 國際研討會 論文集』 台湾南臺科技大學人文社會學院 應用日語系 出版 ISBN:9789865627416 P50~55
② DX Driven Tourism: Attempt of “Tourism Design Education”	単著	2021 年 6 月	JRCR Journal vol. 1 P10~24
③ New Community Renovation using ICT : Focusing on Takamori town, Kumamoto	単著	2021 年 12 月	JRCR Journal vol. 2 P10~17
④ ICT Business Education adapted to the ICE approach: Focusing on “ICT Business Design”	単著	2024 年 3 月	『日本経大論集』第 52 巻 2 号 P1~13
⑤ The Active Learning in Tourism Design: Focusing on Project-Based Learning (PBL) in Higher Education	単著	2025 年 2 月	『広島文教グローバル』第 9 号 P17~31
(3) 研究・作品発表	発表の年月		発表学会等
① DX・ドリブン・ツーリズム ー「観光デザイン」教育の試みー	2021 年 7 月		日本観光学会
② ICE アプローチに基づいた観光 デザイン教育に関する研究	2024 年 8 月		日本観光学会
(4) 所属学会			
① 日本観光学会			
② 日本観光情報学会			
③ 国際ビジネスコミュニケーション学会			
④ NPO 法人 日本ゆたかなまちづくり研究会 (理事・本部 熊本県熊本市)			
⑤ 一般社団法人 日本ゆたかなまちづくり研究会 (理事・本部 神奈川県小田原市)			